

酒パブリックリサイクル促進協議会便り

Vol.2 平成20年12月1日 発行

発行：酒パブリックリサイクル促進協議会

灘・伏見地区

酒パブリック循環型 リサイクルシステム始動！！



■酒パブリックリサイクル促進協議会が、事業者によるリサイクル活動第一弾として計画してまいりました灘・伏見地区リサイクルシステムは、年頭から両地域で酒造メーカー・回収事業者・受け入れ製紙会社との話し合いを積み重ね、今年7月に新たな回収システムとしてスタートいたしました。

■このシステムは、今まで各社各様に処理されていた工場損紙を、すべて製紙原料として有価で流通させリサイクルすることを目的に、

良好な排出状態（異物混入の無いよう等）を心掛けると同時に、工場のゼロエミッションを推進する社内環境づくりを目指すものです。

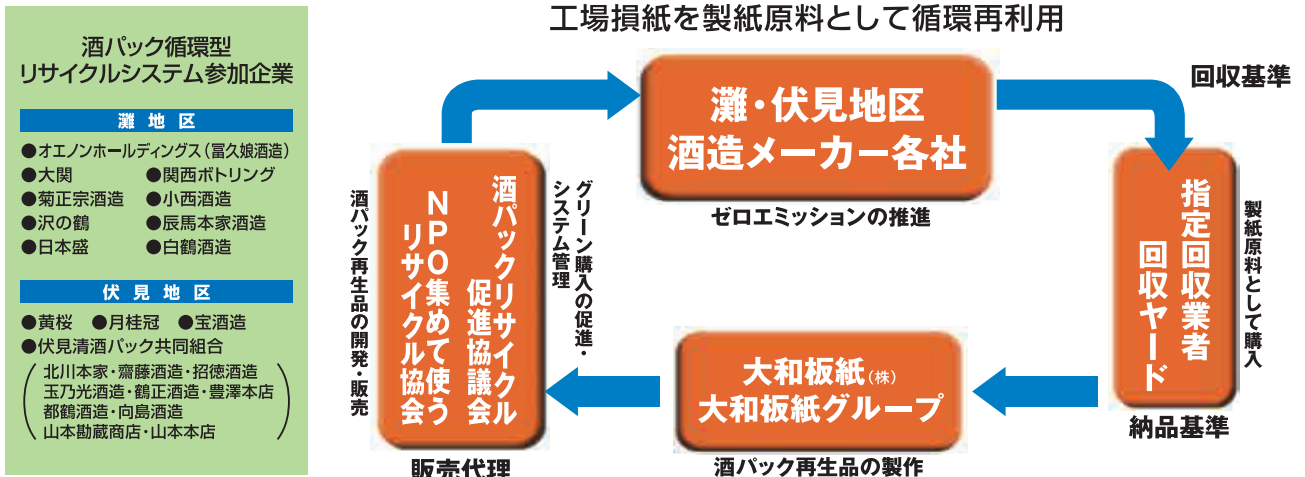
■さらに排出した酒パックから生まれた再生品を積極的に使用することによって、リサイクルの輪を完結させ

るべく、名刺や天パット、各種パッケージなど、各社の実情に合わせ活用できるものの制作が検討されています。

■特定業界による地域限定の循環システムという特異性もあり、新聞報道などでも手伝って各方面からの問い合わせも相次ぎました。酒パブリックリサイクル促進協議会では今後いろいろな仕組みを通して酒パブリックリサイクルを推し進めてまいります。



工場損紙を製紙原料として循環再利用



酒促進協活動報告

第54回

日本母親大会in愛知

【とき】

平成20年7月26日(土)

27日(日)

【ところ】

ポートメッセ名古屋 ほか

酒パック回収に取り組み、障害者作業所からの要請により、27日(日)ポートメッセ名古屋で開催された全体会会場での物産展に、酒パックスリサイクルブースを出展。地元の会員酒造メーカー2社(中笠酒造・盛田)の協力をえて、両社の酒パックを展示、障害者作業所メンバーのアルミ剥離作業の実演、酒パック再利用品の紹介や酒造メーカー・容器メーカーの取り組み紹介などを行う。またアルミ付き飲料容器使用の、200mlジュースをゴールドパック社から提供してもらい来場者に配布した。

へほらむ交流研究センター／
集めて使うリサイクル協会／
協力：印刷工業会ALMpri・

酒パックスリサイクル促進協議会(中笠酒造(株)・盛田(株)・ゴールドパック(株)・御嵩町あゆみ館・日進市愛歩・リサイクルランドぎふ・デユプロ販売(株))



酒パックスリサイクル 現場見学会

酒パックスリサイクル促進協議会では、以前から会員企業の要望が多かった酒パックスのリサイクル現場見学会を左記のとおり実施した。

【とき】

平成20年9月9日(火)

【ところ】

大和板紙株式会社(大阪府柏原市) 紙好き交流センター(大阪府交野市)

【参加企業】

大関・菊正宗酒造・薩摩酒造・三和酒類・宝酒造・

辰馬本家酒造・中笠酒造・日本盛・白鶴酒造・盛田・印刷工業会・アイピーアイ・大日本印刷・東京製紙・凸版印刷・日本テトラパック・北越パッケージ・集めて使うリサイクル協会
18社27名

■大和板紙株式会社見学

今年7月からスタートした、灘地区・伏見地区酒造メーカーによる工場損紙統一リサイクル循環システムの受け皿になっている大和板紙では、各企業から排出された酒パック損紙が、板紙に再生されていく過程を順を追って見学した。

あくまで製紙原料として受け入れるものであるため、極力異物混入の無いよう協力してほしい旨の製紙工場からの要望を、各工程を見ながら各社真剣に受け止めていただいた。



■紙好き交流センター見学
紙好き交流センターでは、早くから酒パックを原料に紙好き事業を展開しており、全国450箇所のにほる障害者作業所に、はがきや名刺などの紙好き指導を行う中で、月産10万枚の生産能力を持つ作業所ネットワークを作り上げている。

ここでは見学者が実際に、酒パックのアルミ剥離やポリ剥離などを体験実習し、同時に熟練した障害者の手漉き作業から生まれる各種商品に見入っていた。

普段見ることのないリサイクル現場の見学によつて、自らが排出する酒パックが貴重な製紙原料として再生されていることを認識できた1日となった。



2008 NEW環境展

【とき】

平成20年9月18日(木)

〜20日(土)

【ところ】

インテックス大阪



本年も3ブースを使って、酒造メーカー・容器メーカー等の酒パックスリサイクルの取り組みを紹介、各種酒パック再生品の展示を行った。(3日間の来場者数85,846人 主催者発表)

また全国350店舗に拡大した回収拠点「エコ酒屋」を理解してもらうため、回収BOX型の貯金箱を配布、来場者の関心を呼んだ。



出展の様子は9月22日発行の「食品醸界新聞」の1面表紙を飾るなど、一定の成果をあげた。



「エコ酒屋貯金箱」と「エコ酒屋通信」

お客さんへの呼びかけと、年末に向けての販促ツールとして活用してもらおうべく、酒パック再生紙で作った「エコ酒屋貯金箱」を「エコ酒屋通信」と一緒に、全国のエコ酒屋登録酒販店に送付した。

登録店舗数
計 **354** 店
2008年8月25日現在

- ※8月 磐田小売酒販組合 54店舗 新登録
- ※その他の回収BOX設置箇所
岩手県：スーパー 3店舗
兵庫県：居酒屋 約20店舗
愛知県：日新市エコドーム
京都府・滋賀県：酒ディスカウント店 約20店舗 ほか

あなたの街のリサイクルステーション
エコ酒屋通信 第4号
酒パック貯金箱を販促にご活用ください！

エコ酒屋登録店舗数は全国で 354 店に

都道府県	登録店舗数	都道府県	登録店舗数	都道府県	登録店舗数	都道府県	登録店舗数
北海道	1	山梨県	1	徳島県	1	香川県	1
青森県	1	長野県	1	高知県	1	高知県	1
岩手県	3	新潟県	1	福岡県	1	福岡県	1
宮城県	1	富山県	1	佐賀県	1	佐賀県	1
秋田県	1	石川県	1	大分県	1	大分県	1
山形県	1	福井県	1	熊本県	1	熊本県	1
福島県	1	岐阜県	1	鹿児島県	1	鹿児島県	1
茨城県	1	静岡県	1	沖縄県	1	沖縄県	1
栃木県	1	愛知県	1	計	354		
群馬県	1	京都府	1				
埼玉県	1	兵庫県	1				
千葉県	1	奈良県	1				
東京都	1	和歌山県	1				
神奈川県	1	鳥取県	1				
新潟県	1	徳島県	1				
富山県	1	香川県	1				
石川県	1	高知県	1				
福井県	1	福岡県	1				
岐阜県	1	佐賀県	1				
静岡県	1	大分県	1				
愛知県	1	熊本県	1				
京都府	1	鹿児島県	1				
兵庫県	1	沖縄県	1				
奈良県	1						
和歌山県	1						
鳥取県	1						
徳島県	1						
香川県	1						
高知県	1						
福岡県	1						
佐賀県	1						
大分県	1						
熊本県	1						
鹿児島県	1						
沖縄県	1						

第4回酒パックリサイクル促進協議会

【とき】平成20年10月16日(木)
【ところ】宝山ホール(鹿児島文化センター)

協議会が発足して初の九州での開催となり、鹿児島という遠方であったにもかかわらず

酒パック貯金箱ができました。

【とき】平成20年10月17日(金)
【参加】21社 32名

協議会の翌日は、枕崎に移動。焼酎造りの現場や、古い焼酎造りの道具などが見学できる焼酎資料館(明治蔵)を見学。仕込中のもろみの入った甕を見たり、試飲コーナーで各種焼酎を味わった。



薩摩酒造花渡川泰留所見学会

また会員各社への酒パックアンケート調査の結果、協議会に参加の酒造メーカーの酒パック使用量が全酒パック量の半数以上を占めることが判明した。



●酒パックリサイクル促進協議会 会員リスト●

- 1 日本酒造組合中央会 東京都 (運営委員 小野・木内)
 - 2 雲海酒造株式会社 宮崎県
 - 3 オエノホールディングス(株) 東京都 (運営委員 森山)
(合同酒精・福德長酒類・富久娘酒造 他)
 - 4 大関株式会社 兵庫県
 - 5 菊正宗酒造株式会社 兵庫県
 - 6 黄桜株式会社 京都府
 - 7 霧島酒造株式会社 宮崎県 (運営委員 西村)
 - 8 月桂冠株式会社 京都府 (運営委員 山下)
 - 9 小西酒造株式会社 兵庫県
 - 10 薩摩酒造株式会社 鹿児島県
 - 11 沢の鶴株式会社 兵庫県
 - 12 三和酒類株式会社 大分県 (運営委員 大隈)
 - 13 高千穂酒造株式会社 宮崎県
 - 14 宝酒造株式会社 京都府 (運営委員 中尾)
 - 15 辰馬本家酒造株式会社 兵庫県
 - 16 中笠酒造株式会社 愛知県
 - 17 日本盛株式会社 兵庫県 (運営委員 平野)
 - 18 白鶴酒造株式会社 兵庫県 (運営委員 近藤)
 - 19 平喜酒造株式会社 岡山県
 - 20 伏見清酒パック協同組合 京都府
(北川本家・齋藤酒造・招徳酒造・玉乃光酒造・鶴正酒造・豊澤本店・都鶴酒造・向島酒造・山本勘蔵商店・山本家)
 - 21 ほまれ酒造株式会社 福島県
 - 22 盛田株式会社 愛知県 (運営委員 白土)
 - 23 印刷工業会 東京都 (運営委員 長谷川)
 - 24 アイビーアイ株式会社 東京都 (運営委員 横尾)
 - 25 大日本印刷株式会社 静岡県
 - 26 東京製紙株式会社 東京都
 - 27 凸版印刷株式会社 東京都
 - 28 日本紙パック株式会社 東京都
 - 29 日本テトラパック株式会社 東京都
 - 30 北越パッケージ株式会社 東京都
 - 31 紙製容器包装リサイクル推進協議会 東京都 ※6月入会
 - 32 社団法人全国清涼飲料工業会 東京都 ※8月入会
- 事務局 特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会 大阪府
(参加数：4団体 28社)

酒パブリックリサイクル促進協議会 会 則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、酒パブリックリサイクル促進協議会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を大阪市中央区に置く。

(目 的)

第3条 本会は、事業者と市民団体が協働し、酒パックを主体に、アルミを利用する飲料用紙パック及びアルミを利用しない飲料用紙パックのリサイクルを促進するために、回収率の向上等について自主的取り組みを推進することを目的とする。

第2章 事 業

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1) 酒パックの市場回収・リサイクルのためのシステム開発
(2) 酒パック回収率の向上に関する調査・研究
(3) 酒パブリックリサイクルについての普及・啓発
(4) 行政機関・関連業界・団体等への酒パブリックリサイクル促進のための要請および建議
(5) 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 会 員

(構 成)

第5条 本会は、原則として酒パックを利用または製造する企業・団体及び、本会の目的に賛同した者をもって組織する。

(入 会)

第6条 本会に入会しようとする者は、運営委員会の承認を得なければならない。

(退 会)

第7条 会員が退会しようとするときは、事前に書面をもって会長に提出しなければならない。

第4章 組織および役員等

(役員及び定数)

第8条 本会に次の役員等を置く。
会長1名 副会長2名以内 運営委員8名以上15名以内 監査役2名以内

(役員を選任・会務)

第9条 運営委員(8名以上15名以内)及び監査役(2名以内)は定期総会において選出する。
但し、監査役は会員外から任命することができる。
(1) 運営委員会において運営委員のうちから会長・副会長を互選する。

第10条 役員会の会務を次の通り定める。

- (1) 会長は本会を代表し会務を統括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。
- (3) 運営委員は随時運営委員会を開催し、本会の主要業務を審議する。また、運営委員会が判断し、各種部会をおくことができる。
- (4) 監査役は本会の会計を監査し、また運営委員の会務の執行状況を監査する。総会に監査報告をおこなう。

(役員等の任期)

第11条 本会の役員等の任期は2年とし、再任を妨げない。退職・異動等の事情による任期途中の役員等の交代については退任する委員が交代する委員を指名する。但し、交代により指名された委員の任期は、他の役員と同時に終了するものとする。

第5章 会議・総会および会計

(事業年度)

第12条 本会の事業年度は4月1日から翌年3月31日とする。

(定期総会・全体会議)

第13条 定期総会を含め原則年3回の全体会議を開催する。
(1) 年度初の全体会議は定期総会とする。定期総会において前年度の活動報告、決算報告、及び予算報告等を行う。以後、全体会議・臨時総会は必要に応じ、会長が召集する。
(2) 総会の議長は会長が行う。但し議長を副会長若しくは運営委員に会長が指名することが出来る。
(3) 定期総会の成立は出席人数を問わない。決議事項については議決権を有する定期総会出席者の1/2以上の賛成を必要とする。議決権は1会員1票とする。

(会 費)

第14条 会費は必要な額を運営委員会の議決により決定し会員より徴収する。

(事務局)

第15条 本会に、事務を処理するため、事務局を置く。
(1) 事務局はNPO法人集めて使うリサイクル協会に委嘱する。

(その他)

第16条 この会則に規定のないものの追加、記載事項の修正等が必要な事項については運営委員会で検討し、総会に諮る。

附 則

この会則は平成19年8月1日から実施する。

「酒パブリックリサイクル促進協議会」参加申込書

「酒パブリックリサイクル促進協議会」に下記内容で、参加を申し込みます。

年会費：1口 50,000円 (口、 円)

口数は500ml以上の酒パック年間出荷本数により設定しています。

・1,000,000本 未満 1口以上 ・1,000,000本 以上 2口以上

記 入 日		
会社名・団体名		
所属・役職名		
担当者名		
住 所	〒	
電話・FAX番号	TEL	FAX
メールアドレス		

* FAX(06-6209-6685)でお申し込みください。
追って年会費振込口座等のご連絡をさせていただきます。
ご不明な点がございましたら、事務局:集めて使うリサイクル協会(西田)までお問合せ下さいませようお願い申し上げます。

酒パブリックリサイクル促進協議会

事務局：NPO法人 集めて使うリサイクル協会
大阪市中央区高麗橋1-3-4 小池高麗橋ビル4F
TEL 06-6209-7155 FAX 06-6209-6685